

## 生涯学習フェスティバルに参加しました



女性学級(藍染布展示)、瀬越自治会女性部、パンの会が出展出品しました。

大変な賑わいで1時間も経たずに完売しました



# 第11回 平佐東レキバナ(歴史話)講話 (茶園三洋さん)

平佐東小学校 明治時代の沿革誌(2)

前回の最後で歴代校長先生6名を紹介しました。現代の私たちの常識には、学校は校長先生中心との考えがあるかと思いますが、前回の掲載文で私は下線を施しました。暴風で校舎が破壊された時の「有志者の運動」や開校して6年後の明治9年に「正則の課程」を教え、それまでの間は「偏則の教科を授く」となっています。校長不在でも学校の営みはあった。それは一般の先生方の努力によるものだろうし、先生方と共に力を尽くされた「有志者」だったり、保護者をはじめとする地域の力だったのではと強く思います。その後も、高等科「設置が許可」され、戦前の「校名(平佐東尋常高等小学校)が正式」に決まるまでにも地域の力が支えたのではと推測します。読者の皆さんはどうお考えでしょうか・・・。

ところで、沿革誌の最初に「緒言(始めのことば)」があり、4代目の校長 比嘉 徳が書いたもので、明治35年12月の日付がある。内容は、① 学校の沿革誌は、一国の歴史と同じぐらい重要で大事なのに、創立以来その沿革(学校の歴史)を記したのものが無い。② 私は余職を本校に承ったので微力ながらその編纂に努めることを決めた。開校は明治3年1月なのに、その学校の歴史を記録する作業は明治35年に始まったのである。そして、次の5代目校長 小西甚助で終わっている。この二人の尽力で、明治時代の小学校の記録が残っているのです。特に沿革誌がないことを残念がり自ら発心して、開校から32年目にしてその記録を記すことを始めた大変さは、想像できない苦労と工夫、情熱があったことでしょう。

比嘉 徳は明治34年9月26日に代用教員として採用され、明治35年4月3日教員となり、同年12月9日には訓導兼校長になっている。(同年1月2日前校長が転任した後、後任がなかった。)まさにスピード出世だが、明治39年5月21日には辞任とあり、同年7月2日小西甚助が訓導兼校長に任命されている。比嘉徳は在職年数4年9か月の記録が残るも、突然の辞任だったのではないだろうか？

## みんなのはんとけん体操



来年度から定期開催を考えています。

## 第6回史跡巡りウォーキング



### 1人 片道 300円

なるべく乗り合わせでの、ご利用をお願いします。

予約や利用の仕方など、詳しく聞きたい方は、コミセンまで連絡ください。



平佐東地区  
コミュニティセンター  
TEL 29-2056

3月 2日(土) あさひ資源保全  
7日(木) 運営委員会  
8日(金) 各部会  
～  
13日(水) 民児協  
16日(土) あさひ資源保全

☆ 3月慰霊碑掃除当番 飯母自治会